

令和6年度 上下水道部 経営方針

令和7年3月
上下水道部長 中村 直樹

1 部・室の基本方針

(1) 部の組織目標	(2) 「まちづくり構想 福知山」で掲げる政策・施策の実現、及び行政改革大綱 2022-2026 の取組推進に向けた部内の運営方針
①利用者への水道水の安定供給と持続可能な施設整備の推進 ②汚水等の適切な処理による利用者等の快適な生活環境の維持向上と持続可能な施設整備の推進 ③民間事業者との連携強化による良質なサービス提供体制の構築と運用 ④経営戦略と整合する企業経営の推進と上下水道ビジョンに沿った施設・設備の更新	○「まちづくり構想 福知山」 基本政策 9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち 政策目標 9-2 産業基盤の確立 施策 計画的な上下水道の整備 ・上下水道施設の計画的更新及び耐震化の推進 ・上下水道施設の統廃合の検討 ・上下水道事業のビジョン及び経営戦略に基づく健全経営の推進 ・下水道事業の広域化・広域連携の検討 ○行政改革大綱 2022-2026 基本目標 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる 政策 活力を生み、安心な生活を実現する環境の確保 政策目標 11 産業基盤の整備 ・計画的な上下水道施設の整備 ○SDGsのゴール「6・9・11・14・17」

2 令和6年度の重点目標

No	重点目標	現状認識（重点目標の背景にある現状と課題、社会の動向など）	取組内容及び成果目標	達成状況（年度末評価）	達成度
1	上水道事業等包括的民間委託事業	人口減少など、将来的に料金収入が減少していくことと、民間のノウハウを活かした質の高いサービスを提供するため平成31年度に水道事業等包括的民間委託を導入した。第二次包括的民間委託（令和6年～令和10年度）の開始に伴いパートナーシップ会議により業務課題の解決に取り組み業務を遂行する。	【取組内容】 ・包括的民間委託のパートナーシップ会議により、各業務の更なる向上を図る。 パートナーシップ会議及び第三者アドバイス会議の実施。 【成果指標】 ・パートナーシップ会議による業務の効率化	・第二次包括的民間委託の開始とともに、毎月1回、パートナーシップ会議を開催し、業務の進捗や課題等について話し合うとともに、その結果をホームページで公開した。また、9月18日には外部委員による第三者アドバイス会議を開催し、事業運営にあたっての意見をいただいた。	C

2	上下水道事業経営審議会の開催	上下水道事業の適正かつ効率的な経営を図るため、令和2年度に条例に位置付けて常設設置（公開開催）したもので、継続的、総合的に各種計画等を審議する。	【取組内容】 経営審議会を開催し、経営状況等を報告、確認する。 【成果指標】 審議会を年2回開催（春・秋頃）	・4月16日、11月11日の計2回、審議会を開催し、予算や決算について報告を行うなかで、経営戦略の進捗確認や経営についての意見を聴取した。	C
3	水道事業ビジョンの計画的展開（水道基幹管路の更新と耐震化）	令和元年12月策定のビジョンに基づいて計画的な水道基幹管路の更新と耐震化を促進する。	【取組内容】 水道管の更新に併せて耐震管を布設し基幹管路の耐震化を推進する。 【成果指標】 基幹管路更新延長L＝400m 基幹管路耐震化率41.9%（0.5%向上）	・堀山第3配水系統の基幹管路の耐震管更新を実施したが、材料調達に不測の日数を要し、翌年度に繰越すこととなった。 ・基幹管路更新延長L＝380mを完成予定としていたが、繰越したため耐震化率全体は41.4%で変化なし	B
4	芦洲浄水場前処理施設設置事業	芦洲浄水場における水質改善のための前処理施設設置により、安心で安全な水道水の供給を図る。	【取組内容】 芦洲第2取水場に活性炭ろ過機を設置し、PFOS及びPFOAの除去を行う。 【成果指標】 第1四半期工事発注、年内運転開始 PFOS、PFOAを管理目標値以内に適正管理	・令和6年11月13日から活性炭ろ過設備の試運転を開始し、令和7年1月27日に工事が完成した。 ・試運転開始後、月1回水質検査結果を行い、全て5ng／リットル未満で管理目標値以内	C
5	下水道総合地震対策事業	平成2年度策定の下水道総合地震対策計画に基づいて施設等の防災・減災対策を推進する。	【取組内容】 下水道総合地震対策計画に基づき、和久市第1ポンプ場沈砂池などの耐震化を推進する。 【成果指標】 施設耐震化率25.0% （実績：令和5年度末21.9%）	・処理場・ポンプ場の耐震診断は全て完了し、処理場内は5施設/19施設、ポンプ場は3施設/13施設、計8施設/32施設が耐震性能を有している。 ・震化工事2箇所、耐震性能を有する施設5箇所である。 ・和久市第1ポンプ場沈砂池耐震化工事を実施した。 ・令和6年度末施設耐震化率25.0%	C
6	福知山終末処理場汚泥処理施設再構築事業	老朽化が進んだ既存の汚泥処理施設に関して、国の通達に基づいて汚泥の有効活用が図れる施設となるよう計画的に施設の再構築を進める。（日本下水道事業団とDBについて協定締結）	【取組内容】 着手している汚泥有効利用施設建設工事の進捗管理を行うために、定期的な会議を実施し、令和7年度の施設整備完了をめざす。 【成果指標】 新設工事の遅延のない進捗管理	・汚泥受入供給施設・汚泥処理棟・汚泥消化設備・固形燃料化設備を築造、機器類設置中で、令和7年3月末で進捗率は79%である。 ・令和7年度の施設整備完了に向けて順調	C

【達成度】

区分	達成の度合	定量的な判断基準	定性的な判断基準
A	目標を著しく上回る成果をもって達成	達成水準に対して 150%以上の成果	期待を大幅に上回る成果
B	目標を上回る達成	達成水準に対して 110%以上の成果	期待以上の成果を挙げた
C	目標通りに達成	達成水準通り（100%）の成果	ほぼ期待通りの成果を挙げた
D	目標を未達成	達成水準に対して 100%未満 複数の成果目標に対して一部未達成	期待通りの成果に至らなかった
E	目標を著しく未達成	達成水準に対して 50%未満	期待を大幅に下回る結果

3 所管部署が関与する庁内推進組織

推進組織の名称	役割等	所管事項（概要）	令和6年度取組内容	進捗状況（事務局課のみ記載）
防災対策推進会議	関係課 （下水道課）	治水対策の完成等を受け、ハード・ソフトを含めた防災対策を推進 防災施設の管理運用 避難体制の更なる取り組み 新たな治水・内水対策の検討	防災施設管理運用計画に基づき実施中	